

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586013701	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する～医療と健康、社会科学、科学技術 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koyo-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	歯学部本館7F薬剤学研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月?金曜日 13:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標 / Goal	医療とは、人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動を意味する。ここでは、健康の維持と医療との関わりを正しく理解し、説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書を用いない講義科目なので、種々の資料や教材及び手段(液晶プロジェクターによる映像等)を使用する。また、医療に関わる多様な分野の教員とともに、多様な方法により、「健康と医療の安全・安心」を考える。		
授業内容 / Class outline / Con	医療に関わる多様な分野の教員が、それぞれの分野における「健康と医療の安全・安心」について講義・演習する。		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前に授業に関するキーワードについて学習する。事後には、いろいろな視点から健康と医療の安全・安心について考える。		
キーワード / Key word	遺伝、遺伝子組換え、家族、女性、子ども、薬の副作用		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	積極的授業参加態度(40%)、レポート(40%)、小テスト(20%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特に指定しない。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/		
学生へのメッセージ / Message for students	定期考査は実施しないので、毎回の出席は当然ですが、課題の提出などをくれぐれも忘れないようお願いします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(西田)(10/3)		
第2回	遺伝子組換え技術(木住野)(10/3)		
第3回	遺伝子組換え技術と生物多様性(木住野)(10/10)		
第4回	遺伝子組換え技術と医療(木住野)(10/10)		
第5回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?ライフイベントと起こりうる危機(江藤)(10/17)		
第6回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?ドメスティックバイオレンスの発生と危機(江藤)(10/17)		
第7回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?生命誕生と新しいメンバーを迎えた家族の危機(江藤)(10/24)		
第8回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?さまざまな葛藤と意思決定支援(江藤)(10/24)		
第9回	遺伝子と遺伝子発現調節(伊藤)(10/31)		

第10回	遺伝子発現調節の重要性 (伊藤) (10/31)
第11回	「がん」とは何か (伊藤) (11/7)
第12回	がん研究の実際 (伊藤) (11/7)
第13回	薬の功罪 1 (西田) (11/14)
第14回	薬害 (西田) (11/14)
第15回	薬の功罪 2 (西田) (11/21)
第16回	

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586014101	科目番号 / Subject code	05860141
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12121_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する～医療と健康、社会科学、科学技術 (リスク社会と社会科学) / Risk Society and Social Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi, 西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中西 善信 / Yoshinobu Nakanishi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakanishiy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館604号室		
担当教員TEL / Tel	095?820?6354		
担当教員オフィスアワー / Office hours	原則として授業後。その他は事前にメールでアポ (nakanishiy@nagasaki?u.ac.jp) を取る		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	産業界(特に航空業界)の実践の?解を通じて、安全やリスクに関する基本的な考え方を習得する。		
授業到達目標 / Goal	日常生活において、適?にリスクを回避し安全な?動を取れるようになることを目指す。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義(パワーポイント使用)により基本的な事項を解説した上で、小レポート作成及びグループ演習、ならびにこれらへのフィードバック・共有を通じて?解の浸透を図る。		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. プレインストーミング 3. 安全とリスク 4. リスクマネジメント 5. ヒューマンエラー 6. ヒューマンエラー(続) 7. コミュニケーションと安全 8. ヒューマン・マシン・インターフェース 9. 集団作業とリスク 10. 組織安全と安全文化 11. レジリエンスと高信頼性組織 12. 事故調査と犯罪捜査 13. 安全のためのヒント 14. 安全に?動するために 15. まとめ 16. テスト 		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事故, 事故調査, 事故に関わる裁判等に関する新聞, 書籍等に目を通してほしい。		
キーワード / Key word	安全, リスク, ヒューマンファクター, コミュニケーション, 組織		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	使用しない。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験(50%), 授業への参加?(50%)		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ちょっとした心がけと?動で、日常における安全は大きく向上する。そのような?動を身に付けてもらいたい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	イントロダクション		

2	ブレインストーミング
3	安全とリスク
4	リスクマネジメント
5	ヒューマンエラー
6	ヒューマンエラー（続）
7	コミュニケーションと安全
8	ヒューマン・マシン・インターフェース
9	集団作業とリスク
10	組織安全と安全文化
11	レジリエンスと高信頼性組織
12	事故調査と犯罪捜査
13	安全のためのヒント
14	安全に行動するために
15	まとめ
16	テスト

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2018/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586014501	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する～医療と健康、社会科学、科学技術 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki, 西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育, 経済, 薬学, 水産, ? 多文化		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp ? (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部流体エネルギー工学研究室 ?		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516 ?		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献する知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。 ?		
授業到達目標 / Goal	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心 (科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。 ?		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。 ?		
授業内容 / Class outline / Con	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・長崎の豪雨災害をはじめ、これまで発生した災害を教訓に日本各地で防災の都市づくりが進められている。国や自治体レベルで行われている施策を学び、さらに災害が起こったときの備えについて学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもち、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。 ?		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心 ?		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。 ?		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する ?		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第 1 回 安全と安心の基本的な考え方について(林)
第2回	第 2 回 災害とリスクマネジメントについて(林)
第3回	第 3 回 安全文化について(林)
第4回	第 4 回 事故の事例と原因紹介(林)
第5回	第 5 回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
第6回	第 6 回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ 1
第7回	第 7 回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ 2
第8回	第 8 回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
第9回	第 9 回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
第10回	第 1 0 回 自然災害と安全・安心 その 1 (高橋)
第11回	第 1 1 回 自然災害と安全・安心 その 2 (高橋)
第12回	第 1 2 回 自然災害と安全・安心 その 3 (高橋)
第13回	第 1 3 回 化学物質の安全・安心 その 1 (久保)
第14回	第 1 4 回 化学物質の安全・安心 その 2 (久保)
第15回	第 1 5 回 化学物質の安全・安心 その 3 (久保)
第16回	